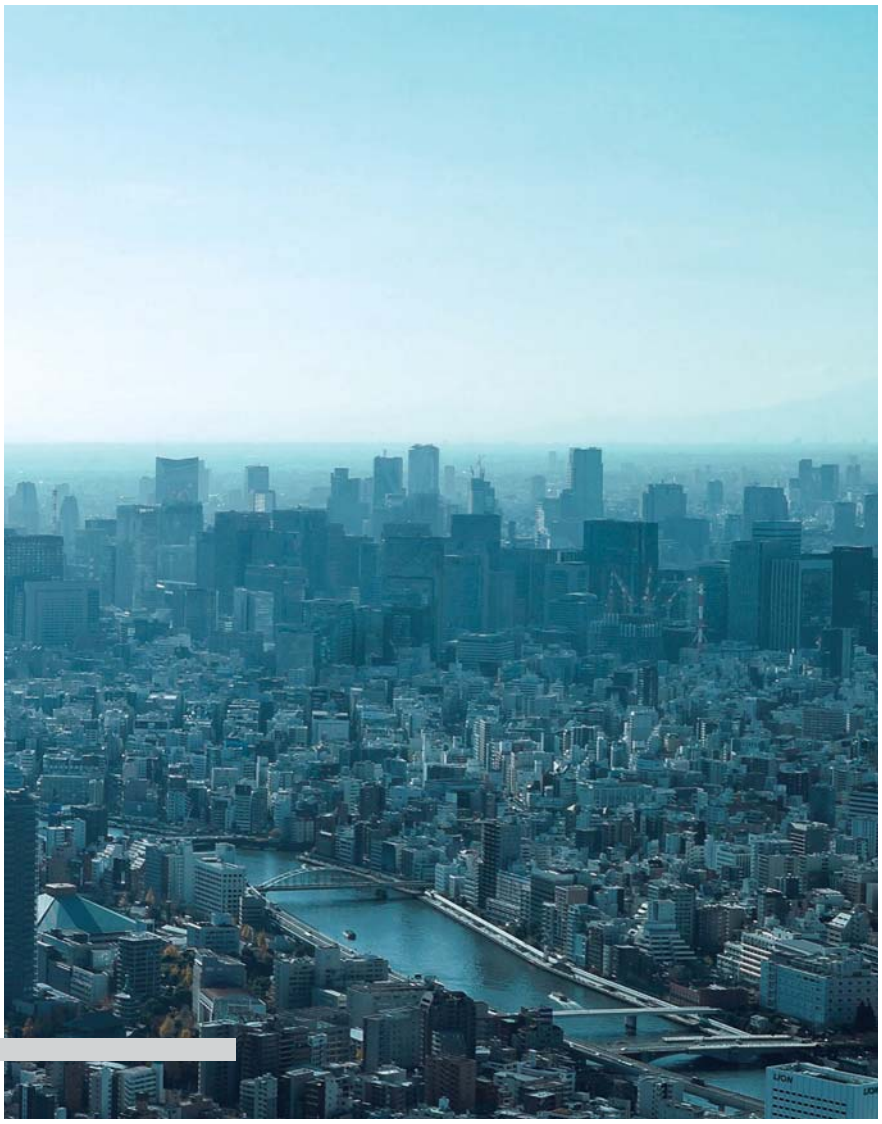
NIHON SEKKEI

都市基盤設計　Civil Engineering

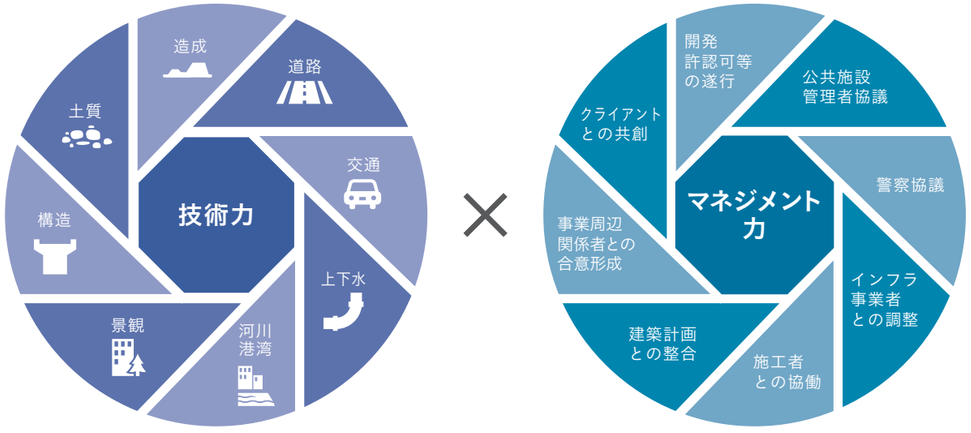


Cherish the Individual, Respect Nature and Innovate the Future

日本設計の都市基盤設計

都市基盤を統合的に整備し、新たな価値創造へ

魅力と活力にあふれ、安全で快適な都市の開発や再構築のためには、都市に集積するインフラや公共空間を公民連携により統合的に整備・再編していくことが必要です。
私たちは、建築物周辺のインフラや、駅・道路・河川周辺の公共空間などの都市基盤に関して、専門領域を横断しかつ俯瞰的視野を持ったエンジニアとして、都市計画の手続きから設計・監理まで一貫して業務を遂行します。
都市の魅力や土地の歴史を尊重し、時代の要請に応え、安全で、多くの人に利用される都市基盤の整備を統合的に推進することにより、都市の価値をさらに高めていきます。



都市基盤の整備を実現する3つの力

専門領域を横断し事業を一貫してマネジメントする力

都市基盤を整備・再編する際には、公共と民間を含む多くの関係者との協議やマネジメントが重要です。都市基盤に関わる多様な専門領域を横断し、事業を着実に推進します。

広域にわたるビジョンを持ち都市基盤を計画する力

日本設計は、長期にわたる都市開発や大規模プロジェクトに数多く携わってきました。建築物の設計を超えて、都市の骨格をなす都市基盤の整備・再編に向けた実現性の高い提案と計画を都市計画段階から行います。

都市の機能と魅力を高める都市基盤を設計する力

都市計画や建築計画とともに、都市の利便性や防災性などの機能の向上を目指し、さまざまな利用者の想いに寄り添い、豊富な知識・技術・経験を集結して、優れた都市基盤の実現を果たします。

1980

産業技術総合研究所つくばセンター

自然との共生、施設の高度利用、エネルギーシステムの集約化により一体化した研究施設群が実現。ランドスケープデザインとともに敷地の骨格となる基盤システムを構築した先駆的プロジェクトです。

1992

ハウステンボス

長崎佐世保市の港湾を含む大規模テーマパーク。人と自然が共存する新しいまちをコンセプトに、単なる基盤設計を超え、自然の回復や水質を向上させる海際の環境都市を創り出しました。

1997

ツインリンクもてぎ

施設配置の検討を重ね、既存森林を可能な限り残したモータースポーツ施設。現地発生石材で雨水浸透施設を設けるなど、周辺の自然景観の保全とともに下流河川への負荷軽減に配慮しています。

2003

東大和市桜が丘2丁目開発

民間主導の開発における大規模土地利用転換の先駆的プロジェクト。工場跡地に電線共同溝を整備し行政に移管。主要道路から戸建区域内道路まで無電柱化されたまちを実現しました。

2014

武蔵小杉南口地区再開発

既存3路線（現5路線）が乗入する利便性の高い鉄道駅周辺の地域において、4つの街区の都市基盤を一体的に整備することにより、交通結節機能を強化し、開発のさらなる価値向上を図りました。

2019

日本橋地区整備

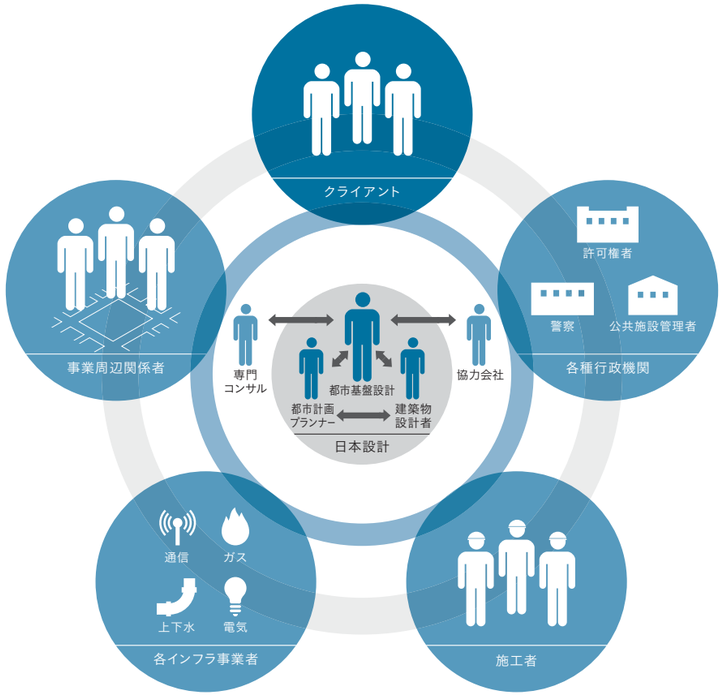
都心部の開発では事業の関係者や周辺インフラはより複雑に関係しています。既存の地下通路や地下鉄駅との接続など、周辺のさまざまな都市基盤を整理し、駅周辺の利便性・回遊性を高めました。

MANAGEMENT

都市基盤のマネジメント

専門領域を横断し、事業を一貫してマネジメントします

民間事業としてまちを一体的に整備し、より良いまちづくりを推進するためには、事業主体だけでなく、公共施設管理者や許認可権をもつ行政、エネルギー供給などのインフラ事業者、駅・道路・上下水道・河川・公園といった多領域にわたる各施設の設計・施工者との綿密な協議が不可欠となります。
私たちは、さまざまな大規模開発を実現してきた経験や、専門領域を横断した見識に基づき、多くの関係者や専門コンサルタントと協働して、事業を一貫してマネジメントします。



路地の魅力を継承した賑わいの広場や街路空間の実現

災害時にも活動拠点となる駅前広場と、無電柱化した道路を再開発整備することにより、歩行者の回遊性を高め、駅周辺の路地空間の味わいのある魅力を継承し、地元に愛され続ける街路を創り出しました。

パークシティ武蔵小山（武蔵小山駅前再開発）

Data

所在地　東京都品川区
主用途　住宅、店舗、保育所、駐車場
敷地面積　7,420㎡
竣工　2020/1

市街地再開発事業による街区を越えた緑道の創出

道路管理者や関係機関との協議、沿道の地権者で構成された協議会を通して理念や整備イメージを検討・共有化し、官民境界と街区を超えてつながる広幅員で多重列植の緑道空間の創出を実現しました。

赤坂インターシティ・赤坂インターシティ AIR

Data

所在地　東京都港区
主用途　事務所、住宅、コンファレンス、店舗
敷地面積　赤坂インターシティ：8,020㎡　赤坂インターシティ AIR：16,090㎡
竣工　赤坂インターシティ：2005/2　赤坂インターシティ AIR：2017/09

防災機能向上のための道路と歩行者空間の整備

再開発事業により、狭隘な道路を廃道し、緊急車両と自転車・歩行者のみが通行できる幅員12mの無電柱化された道路の新設を計画し、快適で安全な住環境が整備されました。

両国駅北口地区再開発

Data

所在地　東京都墨田区
主用途　ホテル、事務所、中学校
敷地面積　16,500㎡
竣工　2000/4

駅周辺地域の利便性を高める一体的な都市開発

武蔵小杉駅周辺の４つの街区に跨る都市基盤整備。多くの関係者と協議しながら、自動車の主要動線、歩行者の周遊動線、沿道へのアクセス性など、役割が異なるさまざまな道路を統合整備し、理想的な交通空間を実現しました。

武蔵小杉駅南口地区再開発

Data

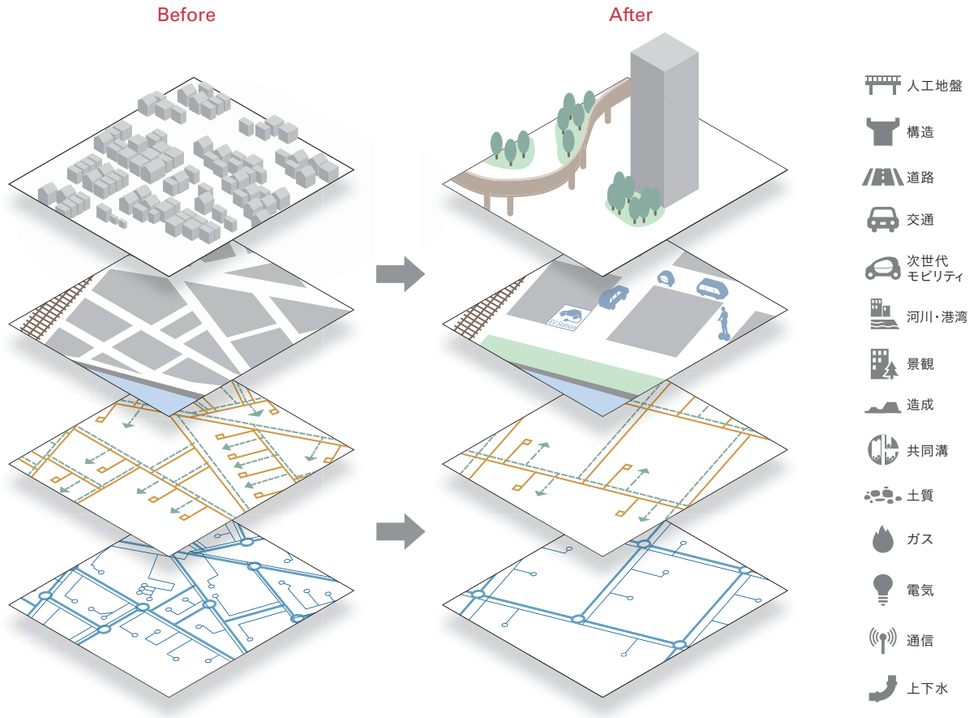
所在地　神奈川県川崎市
主用途　住宅、店舗、事務所、公益施設
敷地面積　約58,000㎡
竣工　2014/3

PLANNING

都市基盤のプランニング

地域の特性を読み解き、長期的なビジョンを持って都市基盤を計画します

再開発事業等の大規模開発においては、常に都市基盤の更新が伴います。これらの計画では、対象とする範囲も広く、周辺環境を含めた全体的かつ長期的で細やかなビジョンを持ったプランニングが不可欠です。
私たちは、事業の構想段階から土木的知見を生かし、都市計画・建築計画と一体となった都市基盤計画を提案します。複数の街区を一体的に捉え、道路・河川・公園・緑地など、まちの骨格を形成する公共空間や、都市機能に求められるインフラを計画することにより、地域全体の魅力を高めるまちづくりを目指しています。



整備前後の都市基盤の構成

交通機関の集中を解消し
安全で快適な歩行者空間を確保

高速鉄道、地下鉄、路線バスと長距離バスなどの公共交通が複雑に入り組んだ状況を、歩行者を優先し立体的に解決することにより、広がりのある空間と利便性の向上を両立しました。

無錫中央駅（無錫駅北広場総合交通ターミナル）

Data

所在地	中国江蘇省無錫市
主用途	交通総合ターミナル、店舗、事務所、ホテル
敷地面積	141,000㎡
竣工	2011/11

緑や運河を生かした
水辺の賑わいを創出するまちづくり

運河に隣接した工場跡地における大規模複合開発計画。シンボルロードを中心に設け、リング状の歩道で歩行者の回遊性を高め、運河プロムナードや桟橋を整備するなど、水辺の賑わいを創出する都市基盤の整備を行いました。

みなとアクルス開発計画

Data

所在地	愛知県名古屋市
主用途	エネルギー施設、スポーツ施設、店舗、住宅
敷地面積	約330,000㎡
竣工	2018/9（第一期開発）

新旧の敷地を統合した
一体的な土地利用

既存敷地と新敷地を分断する道路を廃止し、新たに構内通路を設け区画を統合。都市基盤の再整備、グラウンドや建物を再配置し、一体的な土地利用を実現し敷地全体の価値を高めました。

電力中央研究所　横須賀地区

Data

所在地	神奈川県横須賀市
主用途	事務所、研究施設
敷地面積	約 260,000㎡
竣工	2017/9

既成の管理区分を越えた基盤整備により
工場跡地を新たなまちに

航空エンジン工場跡地を、住宅・商業施設・医療施設等に転換。道路の無電柱化や管理区分の異なる道路と公園の雨水浸透施設を一括整備するなど、街区全体で災害に強い都市基盤を実現しています。

IHI 田無工場跡地開発

Data

所在地	東京都西東京市
主用途	住宅、店舗
敷地面積	約98,000㎡
竣工	2008/6

DESIGN

都市基盤のデザイン

都市の機能と魅力を高める都市基盤を設計します

都市計画や建築計画と整合のとれた各種都市基盤の設計を行い、歩行者空間の拡大や、地上デッキ・地下通路などの施設整備による歩行者ネットワークの改善、道路の付け替えを伴う大街区化による都市防災力の向上、環境配慮と快適性を両立した緑地空間や水辺空間の創出など、まちの機能と魅力を高める都市基盤の整備を実現するための解決策を提案します。また、設計とあわせて「開発行為許可申請」「宅地造成工事の許可」など、計画実現に必要な各種許認可申請手続きまで一貫して行います。
施工段階においては、計画・設計した意図通りに工事が行われるよう監理し、施工者とともに高品質で安心・安全な施設を実現します。

緑に囲まれ、回遊性の高い スポーツエリアを創出

雨水流出を抑制する芝スタンドや屋上緑化などにより、緑に囲まれた競技場とアリーナ施設を設計。歩道橋により道路の分断を解消し既存スタジアムとの連携を深めスポーツエリアとしての一体性を高めました。

武蔵野の森総合スポーツプラザ

Data

所在地	東京都調布市
主用途	アリーナ、プール、フィットネス施設、駐車場
敷地面積	62,290㎡
竣工	2017/3

雨水調整池を兼ねた 親しみのある景観緑地

かつては沼地であった土地に火葬場を設計。大容量の調整池機能を確保するとともに散策もできる緑地として修景し、また建物は半地下化し、屋上を緑化することで存在感を軽減し、周辺の緑地と連続する親しみのある景観を創出しました。

大宮聖苑

Data

所在地	埼玉県さいたま市
主用途	火葬場
敷地面積	41,610㎡
竣工	2004/5

地域の防災と快適性を高める 護岸を兼ねた親水空間

目黒川の水辺の空間に、まちと川をつなぐ親水護岸を兼ねた広場と、休憩所や展示場、防災倉庫を一体的に整え、人々が集える憩いの場所を提案しました。災害時には一時避難所と水運を利用した防災船着場の役割を果たします。

五反田ふれあい水辺広場

Data

所在地	東京都品川区
主用途	休憩所、展示場、防災倉庫
敷地面積	3,440㎡
竣工	2010/6

都市計画道路により分断された キャンパスをつなぐ地下連絡通路

キャンパスの中央に位置する都市計画道路の事業化に伴い、道路用地上の既存校舎移転に合わせ、南北に分断される敷地をつなぐ地下連絡通路を設計しました。キャンパスの一体性を確保し、学生や職員の日々の動線となっています。

武蔵野美術大学14号館　地下通路

Data

所在地	東京都小平市
主用途	大学
敷地面積	37,730㎡
竣工	2016/3

キャンパスを貫く空中歩廊と 一体的につながる横断橋

大学キャンパスの再整備に伴い、県道を跨ぐ横断橋を、各施設をつなぐ空中歩廊の一部としてシームレスに設計。日常的な移動の利便性・安全性を向上し、キャンパス全体の交流の中心となる空間として機能しています。

大東文化大学　東松山キャンパス5号館

Data

所在地	埼玉県東松山市
主用途	大学
敷地面積	168,180㎡
竣工	2013/5

自然環境の保全と 有効な土地利用を実現した大規模開発

里地里山の環境を守るため、ビオトープ・防災調整池の設置、計画初期段階からの土量収支のモニタリングにより土の搬出入をゼロに抑え、地域に融和した大規模造成を実現しました。

本田技研工業株式会社　埼玉製作所　寄居完成車工場

Data

所在地	埼玉県寄居町
主用途	工場
敷地面積	978,440㎡
竣工	2013/3

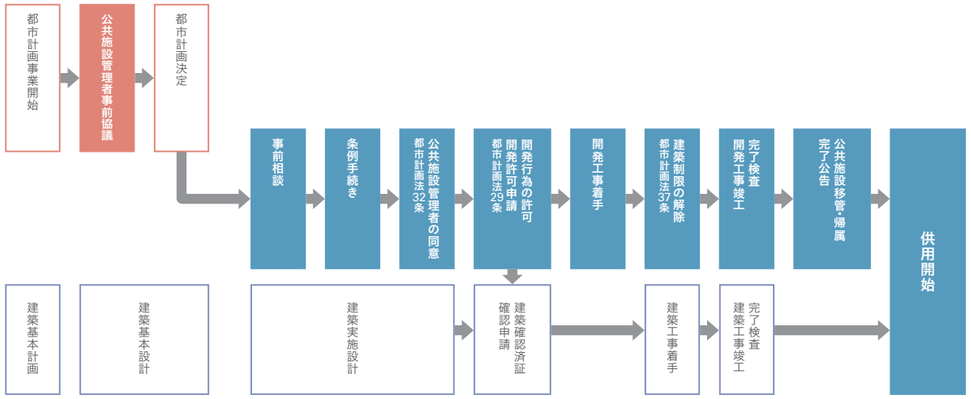
都市基盤設計のプロセス

構想段階の調査・提案から設計・監理まで、プロジェクトのさまざまなステージでサービスを提供します。また、道路、河川、上下水道といった専門の設計に加え、計画の初期段階から一貫して各種マネジメントを行いプロジェクトの推進に貢献します。

開発行為を要する都市計画から建物供用開始までのプロセス

私たちは、都市計画や建築計画と密接に関わるプロジェクトについて、計画～設計～監理のプロセスを通じ、都市基盤整備に関連する行政との協議や都市計画プランナーや建築設計者と横通しを行いながら、各種法令に基づく許認可手続き、完了、移管手続きを行います。

開発許認可手続きの他、都市基盤整備に関連する各種法令（都市計画法、都市開発法、土地区画整理法、宅地造成等規制法、建築基準法他）や公共施設整備に関連する法令（道路法、下水道法他）、既存の土地利用規制に関する法令（農地法、森林法、河川法他）について、高度な知見を駆使し、適切な土地利用整備に貢献します。



主な設計・監理業務実績

プロジェクト	市街地再開発事業	土地区画整理事業	開発行為	主な基盤設計対象	業務期間
産業技術総合研究所つくばセンター				構内通路・下水・電線共同溝	1973-1980
ハウステンボス				造成・構内通路・橋梁・港湾施設	1987-1992
エミエルタワー竹の塚			●	道路・電線共同溝	1987-1997
東大和市桜が丘２丁目開発			●	道路・下水・電線共同溝	1998-2003
ツインリンクもてぎ			●	造成・サーキット場・下水・調整池	1991-1997
長崎港常盤・出島地区				港湾施設	1992-1998
東京スタジアム			●	スポーツ施設	1994-2001
両国駅北口地区再開発	●			道路・下水・電線共同溝	1997-2004
大宮聖苑				道路・下水・調整池	1998-2004
千葉県警察本部				道路	2000
大崎駅東口デッキ				デッキ	2000-2001
国立新美術館				下水・擁壁・調整池	2000-2005
赤坂インターシティー	●			道路	2000-2005
誕生寺 布教殿堂				斜面防災	2001-2006
長崎県美術館				橋梁	2002-2005
仙台一丁目再開発	●			道路・地下連絡通路・デッキ	2002-2009
コレド日本橋	●			道路・下水	2003-2005
明海大学勝浦セミナーハウス			●	造成・道路・下水	2003-2005
武蔵小杉南口地区再開発	●	●	●	道路・下水・電線共同溝	2003-2014
青山メトロ会館			●	道路・下水	2005-2006
国士館大学世田谷キャンパス				横断橋	2005-2008
IHI 田無工場跡地開発			●	道路・下水・電線共同溝・調整池	2005-2008
五反田ふれあい水辺広場	●			水辺広場	2006-2010
本田技研工業株式会社 埼玉製作所 寄居完成車工場			●	造成・構内通路・下水・擁壁・調整池	2006-2103
本田技研工業株式会社 埼玉製作所 小川工場			●	造成・構内通路・下水・擁壁・調整池	2006-2013
本田技研工業株式会社 さくら研究所			●	造成・構内通路・下水・擁壁・調整池	2006-2018
赤坂インターシティ AIR	●			道路	2008-2017
本田小川工場に隣接する物流センター			●	造成・構内通路・下水・擁壁・調整池	2008-2018
三重県立博物館			●	造成・道路・下水・擁壁・調整池	2009-2013
大東文化大学　東松山キャンパス５号館				横断橋	2009-2013
としまエコミューゼタウン	●			地下連絡通路（地下鉄接続）	2009-2015
電力中央研究所横須賀地区			●	道路・擁壁・調整池・グラウンド	2009-2017
みなとアクルス開発計画（第一期開発）			●	道路・擁壁・歩道橋・調整池	2009-2018
武蔵野の森総合スポーツプラザ				構内通路・歩道橋・調整池・スポーツ施設	2010-2017
武蔵野美術大学14号館				地下通路	2011-2016
パークシティ武蔵小山（武蔵小山駅前再開発）	●			道路・下水・電線共同溝	2014-2020

photography:Bao Han on Unsplash/FOTOTECA/石黒写真研究所/エスエス東京支店/川澄・小林研二写真事務所/小池宣夫写真事務所/スタジオバウハウス/テクニカルアート/電力中央研究所/東邦ガス/ナカサアンドパートナーズ/日本設計/本田技研工業/ミヤガワ

『日本設計の都市基盤設計』
発行：株式会社日本設計 2021年3月1日
〒163-1329　東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー　kouhou@nihonsekkei.co.jp

More Information :
日本設計コーポレートサイトではさまざまな情報を配信しています
Various information is shown in our corporate website

株式会社 日本設計

www.nihonsekkei.co.jp

本社　新宿三井ビル
163-0430 東京都新宿区西新宿2-1-1
新宿アイランドタワー
163-1329 東京都新宿区西新宿6-5-1
TEL：050-3139-7100（代表）
支社　札幌支社・中部支社・関西支社・九州支社
事務所　東北事務所・横浜事務所
海外　NIHON SEKKEI SHANGHAI Co., Ltd.
NIHON SEKKEI VIETNAM, INC.
Jakarta Desk in PT Wiratman（Business Partner）

NIHON SEKKEI, INC.

www.nihonsekkei.co.jp

Head Offices　Shinjuku Mitsui Bldg.
2-1-1, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 163-0430, Japan
Shinjuku i-Land Tower
6-5-1, Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 163-1329, Japan
TEL : 81-50-3139-6969
Branch Offices　Sapporo Branch ／ Chubu Branch ／ Kansai Branch ／ Kyushu Branch
Tohoku Office ／ Yokohama Office
Affiliated Companies　NIHON SEKKEI SHANGHAI Co., Ltd.
NIHON SEKKEI VIETNAM, INC.
Business Partner　Jakarta Desk in PT Wiratman

NIHON SEKKEI